

行政評価シート

事務事業名	放射能除染事業			事業開始年度	23年度
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係	除染係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	③放射線対策の推進
取組事項	I. 環境放射線量の低減

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	二本松市除染実施計画に基づき、市内全域を対象とし、市が管理する公共施設、市道等、住宅、商工業施設、農用地、森林等の除染を実施する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	生活圏で一般住宅以外の建物及び空き地等の除染、仮置場・積込場を設置し除去土壌の移送を行った。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	積込場等への移送			指標の単位	袋
指標の説明	環境省が配分する輸送袋数により変更する				
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値			80,000	100,000	67,680
実績値	【29年度までは仮置場への移送】			70,412	86,346
達成度(%)			88.02	86.35	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	生活圏における除染を行い、除去土壌を仮置場又は積込場への移送を行った。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	
【説明】	面的除染が完了し、今後は環境省が配分する輸送数に対応し、現地保管及び仮置場から積込場等へ移送する。

行政評価シート

事務事業名	屋内遊び場運営事業			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	子育て支援課	担当係	子ども家庭係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	③放射線対策の推進
取組事項	I. 環境放射線量の低減

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	屋内遊び場を提供し、親子のストレス解消と子どもの体力向上を図る。
-----------------	----------------------------------

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	開館日 362日(施設・遊具点検日と1月1日のみ臨時休館) ※令和元年度はコロナウイルス感染症対策として2月29日より臨時休館したため332日
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	年間利用者目標達成率			指標の単位	人
指標の説明	実利用者数/計画利用者数(1日当たり335人×稼働日数)				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	121,270	121,270	121,270	121,270	121,270
実績(見込)値	122,366	123,631	123,203	112,631	121,270
達成度(%)	100.9	101.9	101.6	92.9	100.0
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	指定管理者に委託することで、条例規定の休館日も開館することができ、利用の拡大が図られている。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	指定管理者とすることで民間活力を十分に発揮できているため、現状のまま継続する。

行政評価シート

事務事業名	道路等側溝堆積物撤去事業			事業開始年度	30
担当部	建設部	担当課	土木課	担当係	維持係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	③放射線対策の推進
取組事項	I. 環境放射線量の低減

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	原発事故後、市民による道路側溝等の清掃活動を中止しているため、除染未実施箇所の道路側溝等の堆積物を撤去することで、住民の不安解消を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	令和元年度までに15地区(47km)の道路等側溝堆積物の撤去・処分を行った。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	道路等側溝堆積物撤去			指標の単位	km
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	0	0	12	32	10
実績(見込)値	0	0	12	35	10
達成度(%)	0	0	100	110	100
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	30年度(繰越)に6地区(12km)を実施し、令和元年度に事業完了した。令和元年度は9地区(35km)実施し、年度内に事業完了した。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	令和2年度は事業の最終年度であることから、残り4地区(10km)について早期発注して年内完了を目標に事務を進める。

行政評価シート

事務事業名	放射線対策(健康管理)事業		事業開始年度	平成23年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	保健係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	③放射線対策の推進
取組事項	Ⅱ. 放射線量測定体制の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏洩事故に係る放射線被ばくから、市民の安全と健康を守ることを目的とし、各種線量検査や放射線学習会を定期的に受けることができる。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	外部被ばく線量調査、内部被ばく線量検査、放射線学習会、母乳の放射性物質濃度測定
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	中学生以下の外部被ばく線量の測定率	指標の単位	%		
指標の説明	放射線の影響を受けやすいとされる中学生以下の子供の測定率				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	100	100	100	100	100
実績値	75.4	72.4	71.6	71.6	
達成度(%)	75	72.4	71.6	71.6	
指標名②	内部被ばく線量検査の初回受診者数		指標の単位	人	
指標の説明	H23年度実施以降、一度も受診していない市民約30,000人を対象に初回受診者を指標とする				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	30,000	減少	減少	減少	減少
実績値	365	262	252	158	
達成度(%)	1.22	0.87	0.84	0.50	
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果が得られなかった				
【説明】	平成23年11月実施以降、市民の約4割の方が測定し、約6割の方が一度も受診していない状況である。潜在的に内部被ばくしている方が多くいると考えられ受診勧奨してきたが、市民の関心度が年々低くなり、受診者数は1割に満たなかった。				所管課評価
					C

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	低線量被ばくの影響がどの程度か不明な点が多く、市民の安全と健康を長期的に守っていくためには「測定する」ことを継続していく必要がある。未受診者への対応が大きな課題であり、各個人への通知の他、種々の保健事業等を通して受診勧奨を強化していく。

行政評価シート

事務事業名	空間放射線量率メッシュ調査			事業開始年度	23年度
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係	除染係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	③放射線対策の推進
取組事項	Ⅱ. 放射線量測定体制の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	市内全域の放射線量を把握するため、市内全域の放射線量を測定し、放射線量測定マップを作成し、市内全域及び市民が居住する地区の放射線量を認識することにより、放射線への不安の解消を図る。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	市内全域を1kmメッシュ(市街地については500mメッシュ)に区切り、放射線量測定マップを作成し、広報で全戸配布するとともに市ウェブサイトへ掲載し公表する。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①						指標の単位	
指標の説明							
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)		
目標値	【目標設定はなじまない】						
実績(見込)値							
達成度(%)							
指標名②						指標の単位	
指標の説明							
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)		
目標値							
実績(見込)値							
達成度(%)							
【目標に対する進捗状況】	評価結果なし						
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった						
【説明】	市内全域の放射線量を測定し、放射線量測定マップを作成・公表することにより地区の放射線量を認識し、放射線への不安を解消する一助とした。					所管課評価	
						A	

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	定期的放射線量を測定し、放射線量測定マップを作成、公表する。

行政評価シート

事務事業名	保育所給食食材放射能測定事業			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	子育て支援課	担当係	保育所幼稚園係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2) 市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	③放射線対策の推進
取組事項	Ⅱ. 放射線量測定体制の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	東日本大震災による原発事故により食への安全・安心が叫ばれているなか、保育所・こども園で提供する給食食材を検査することにより、子どもたちの安全を担保する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	認可保育所及び認定こども園の合計10施設で提供される給食食材の放射性物質検査を実施。また私立4施設には検査用試料代と保菌検査代(1施設当たり312千円)を補助する。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	検査実施施設数			指標の単位	箇所
指標の説明	食材の検査を実施している施設数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	9	9	10	10	10
実績(見込)値	9	9	10	10	10
達成度(%)	100	100	100	100	100
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】					
【説明】	保育所等で提供する給食食材を検査することで、子ども達の食の安全を担保し、また検査結果の園内掲示することで保護者も安心して給食提供を受けることが出来ている。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	地震後9年間実施してきたが、食材に対する懸念が完全に払拭されたとは言い難い状況にある。また、保育所の給食食材は、現在においても県外産を主に使用しているため、今後県内産食材への切り替えも含めて当面の間当該事業は継続する必要がある。

行政評価シート

事務事業名	農産物等放射能測定事業			事業開始年度	23年度
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係	除染係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	③放射線対策の推進
取組事項	Ⅱ. 放射線量測定体制の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	市民が生産、採取した自家消費用の農産物等及び飲料用井戸水の放射性物質測定をより身近な環境で行い、安全、安心を確保することを目標とする。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	放射性物質測定センター、各支所、各住民センターにおいて、自家消費農産物等の放射性物質簡易測定を行う。 放射性物質測定センターにおいて飲料用井戸水放射性物質簡易測定を行う。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	自家消費農産物の簡易測定			指標の単位	件
指標の説明	市民の要望により測定				
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値	【目標設定はなじまない】				
実績値	7,144	4,826	3,860	2,621	
達成度(%)					
指標名②	飲料用井戸水等の簡易測定			指標の単位	件
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値	【目標設定はなじまない】				
実績値	127	110	99	98	
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	評価結果なし				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	自家消費農産物及び飲料用井戸水等の放射性物質濃度の簡易測定を行った。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	測定件数の減少があるため、測定所の集約等、測定体制を検討のうえ継続する。